

～2020年度保育スタッフ交流会～

8月から保育再開しました



2020年10月23日～11月7日、5会場72名の参加で開催された「2020年度保育スタッフ交流会」。新型コロナウイルスによる活動自粛に伴い、保育スタッフ研修会も中止になりました。今回は、中止になった研修会と合わせての内容となり、保育現場における感染症防止対策などを確認し共有した交流会となりました。



withコロナでの保育

「パルシステム東京の保育制度は組合員が組合員のために助け合いで行っている素晴らしい制度で、他の生協からも注目されています。このような状況下でも多くの方に保育スタッフとして継続登録していただき感謝いたします」という組織部担当者からの挨拶で始まりました。

活動再開前に、今年度登録した126名の保育スタッフ全員に、保育再開時に登録を継続していただけるかのアンケートを実施。保育再開に向けて73%が継続の意思を表明し、保育に臨みます。

交流会では「withコロナの保育」をテーマに

- ①保育ルールの変更や補強について
 - ②注意事項の確認
 - ③変更になった書式の説明
 - ④8月から再開した保育の具体例発表
- などがありました。



再開後の保育現場から

「定例会の保育で、久しぶりに会ったお子さんに“大きくなったねー！”と…思わず声を掛けました」との声にうなずく保育スタッフの皆さん。早く、にぎやかな子どもたちの声を聴きたいといった思いは共通のようです。

各会場では、8月から再開した保育の報告がありました。

- ・会場によっては、保育室の使用禁止やおもちゃを撤去しているところもあるので事前の確認が必要。
- ・備え付けのおもちゃなどの消毒にかなり手間取るため、



手洗いの歌（キラキラ星の替え歌）で参加者全員マスクをしたまま、歌いながら手洗い体操をしました（2020年11月6日新宿本部会場にて）



事前準備の時間と十分な消毒液が必要。

- ・除菌しやすいプラスチック製のおもちゃが助かる。
- ・3～4歳くらいだとマスクに慣れてはきているが、遊んでいる最中に外れることがある。
- ・常に除菌シートを持ちながらの保育だった。
- ・おやつがないことは、意外と大丈夫だったが、切り替え時間がないので、ボール投げや走ったりと、体を動かす遊びが多くなった。
- ・お子さん1人にスタッフ2人いると、1人が子どもと遊んでいるときに除菌できるので助かる。保育スタッフは多めに配置してほしい。

など、各会場からさまざまな報告ができました。

いつもなら、グループごとでの情報交換に忙しいにぎやかな会ですが、今回は研修もかねての静かな交流会となりました。寒くなり、感染の拡大もみられる中、「マスク、3密対策、手洗い・うがい、換気」をお守りとして、感染防止対策への緊張感をもって保育に臨むことを確認できました。

また「保育サポート バンビ」では、当日参加できなかった保育スタッフにも、書面での研修を徹底しています、と報告がありました。

